



資料提供 平成24年7月10日
環境整備課 電話(1622)
美の国あきたネットへの掲載 有

災害廃棄物の試験焼却処理に係る事前の調査結果について ～ 湯沢雄勝広域市町村圏組合：第2報 ～

湯沢雄勝広域市町村圏組合が実施を予定している岩手県野田村の災害廃棄物に係る試験焼却処理に先立ち、事前調査を実施した結果、岩手県と締結した基本協定で定めている受入基準に合致していることが確認できましたので、予定どおり貝沢ごみ処理施設（羽後町）において、試験焼却処理を実施します。

1 調査時期

- (1) 災害廃棄物の事前確認調査：平成24年6月29日（金）
- (2) 焼却施設等の事前調査：平成24年7月3日（火）

2 調査場所

- (1) 災害廃棄物の事前確認調査：岩手県野田村米田^{まいた}二次仮置場
- (2) 焼却施設等の事前調査：貝沢^{かいざわ}ごみ処理施設(焼却施設)及び周辺地域
八面^{やつおもて}一般廃棄物最終処分場及び放流先河川

3 調査結果

(1) 災害廃棄物の事前確認調査（※7月6日に公表済み）

野田村の災害廃棄物の遮蔽線量率、放射性セシウム濃度及びPCB濃度並びに選別・破碎処理エリアの空間放射線量率及びアスベスト濃度を測定した結果は、全ての項目において、県のガイドラインに定める目安値を大幅に下回っている。【別紙1】

(2) 貝沢ごみ処理施設（焼却施設）

施設敷地境界の空間放射線量率、施設周辺の土壌の放射性セシウム濃度、焼却灰（主灰及び飛灰固化物）の放射性セシウム濃度を測定した結果は、これまで県内で観測されているレベルと同程度となっている。【別紙2】

(3) 八面一般廃棄物最終処分場

施設敷地境界の空間放射線量率、構内土壌、周縁地下水、放流水及び放流先河川水の放射性セシウム濃度を測定した結果は、これまで県内で観測されているレベルと同程度となっている。【別紙3】

4 試験焼却処理のスケジュール

(1) 7月12日(木)

- 10:00 災害廃棄物積込み(10トン車1台)、車両空間線量率測定
- 10:30 米田二次仮置場 出発
- 16:00 貝沢ごみ処理施設 到着
車両空間放射線量率測定、災害廃棄物ピット投入

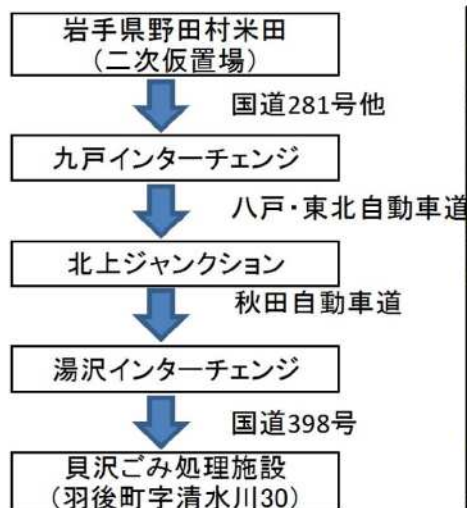
(2) 7月13日(金)

- 0:00 試験焼却処理開始
- 11:00 排ガス測定開始(放射性セシウム)
- 14:30 貝沢ごみ処理施設敷地境界 空間放射線量率測定
※災害廃棄物の運搬・搬入は7月12日と同じ日程、ルート

(3) 7月14日(土)

- 11:00 排ガス測定開始
(ダイオキシン類、塩化水素、窒素・硫黄酸化物、ばいじん)
- 13:30 主灰、飛灰固化物採取
- 24:00 試験焼却処理終了
※焼却後の灰の埋立処分は、放射能測定データが判明した後、最終処分場へ搬出し処分する(7月17日予定)。

○ 搬入ルート



試験焼却処理に係る取材について

- 野田村の仮置場での取材は、環境整備課にお申し込みください。(860-1622)
- 貝沢ごみ処理施設(羽後町)での取材は、湯沢雄勝広域市町村圏組合に直接お申し込みください。(0183-73-9690)

【別紙1】野田村における災害廃棄物の事前確認調査結果

H24.6.29

1 破砕処理エリアの空間放射線量率

[単位：マイクロシーベルト/時]

地点1	地点2	バックグラウンド	目安値
0.06	0.06	0.07	バックグラウンドの3倍を超えないこと

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

[単位：マイクロシーベルト/時]

災害廃棄物の遮蔽線量率	バックグラウンドの遮蔽線量率	災害廃棄物の遮蔽線量率からバックグラウンド遮蔽線量率を差し引いた値	目安値 (差し引いた値)
0.032	0.031	0.001	0.01を超えないこと

※ 遮蔽線量率とは、外部の放射線の影響を低減させるため、災害廃棄物を鉛製の遮蔽体内で廃棄物に接触させて線量率を測定した値。

※ バックグラウンド遮蔽線量率は、遮蔽体内に廃棄物を入れない状態で測定した値。

3 災害廃棄物の放射性セシウム濃度

[単位：ベクレル/kg]

セシウム134	セシウム137	合計値	目安値
不検出 (2.9)	不検出 (2.7)	不検出	100を超えないこと

※ () は検出限界濃度

4 災害廃棄物のPCB濃度

[単位：ミリグラム/リットル]

PCB濃度	目安値
不検出	0.003以下

※ 検出下限値は、0.0005ミリグラム/リットル

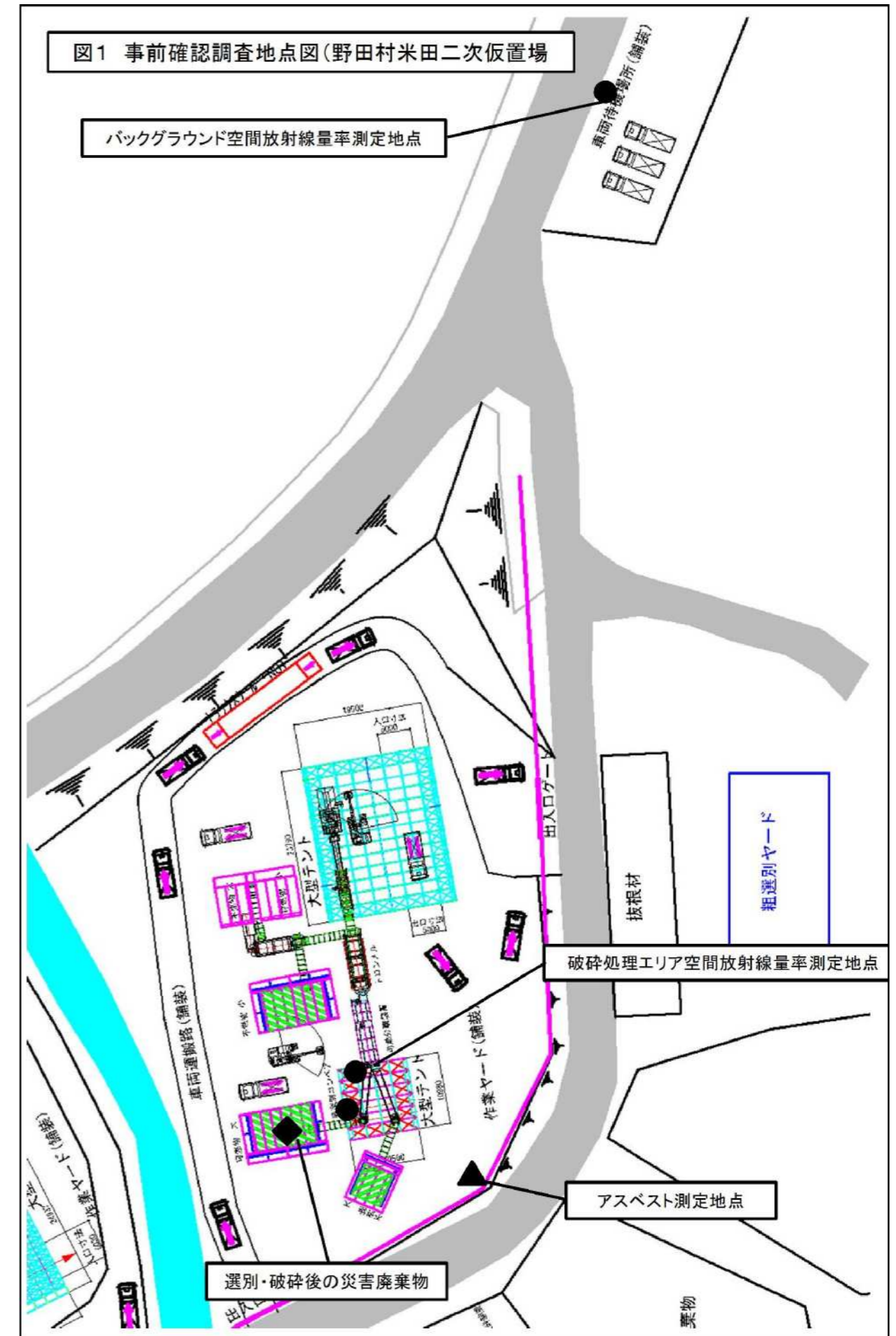
5 選別・破砕処理エリア敷地境界のアスベスト濃度

[単位：本/リットル]

総繊維数濃度	目安値
0.11	10を超えないこと

※ 総繊維数濃度とは、長さ5μm以上、幅(直径)3μm未満の繊維状物質を位相差顕微鏡で計数したもの

・測定機関：エヌエス環境(株)



【別紙2】貝沢ごみ処理施設（焼却施設）における事前調査結果

1 敷地境界空間放射線量率 [単位：マイクロシーベルト/時]

地点1	地点2	地点3	地点4	バックグラウンド	
				地点1	地点2
0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04

※ 秋田県における地上高1mにおける空間放射線量率（0.03～0.09マイクロシーベルト/時）

2 周辺土壌の放射性物質濃度 [単位：ベクレル/kg]

調査地点	放射性セシウム濃度		
	セシウム134	セシウム137	合計
No. 1	不検出 (7.4)	不検出 (5.9)	不検出
No. 2	不検出 (5.8)	不検出 (6.5)	不検出
No. 3	不検出 (5.9)	不検出 (8.3)	不検出
No. 4	不検出 (8.1)	不検出 (8.2)	不検出
No. 5	不検出 (7.4)	不検出 (7.6)	不検出
No. 6	不検出 (9.5)	35 (9.6)	35

※1:秋田市の土壌の放射性セシウム濃度（H20～H23年：25～29.5ベクレル/kg）

※2:秋田県内の落葉の放射性セシウム濃度（H23年：不検出～18ベクレル/kg）

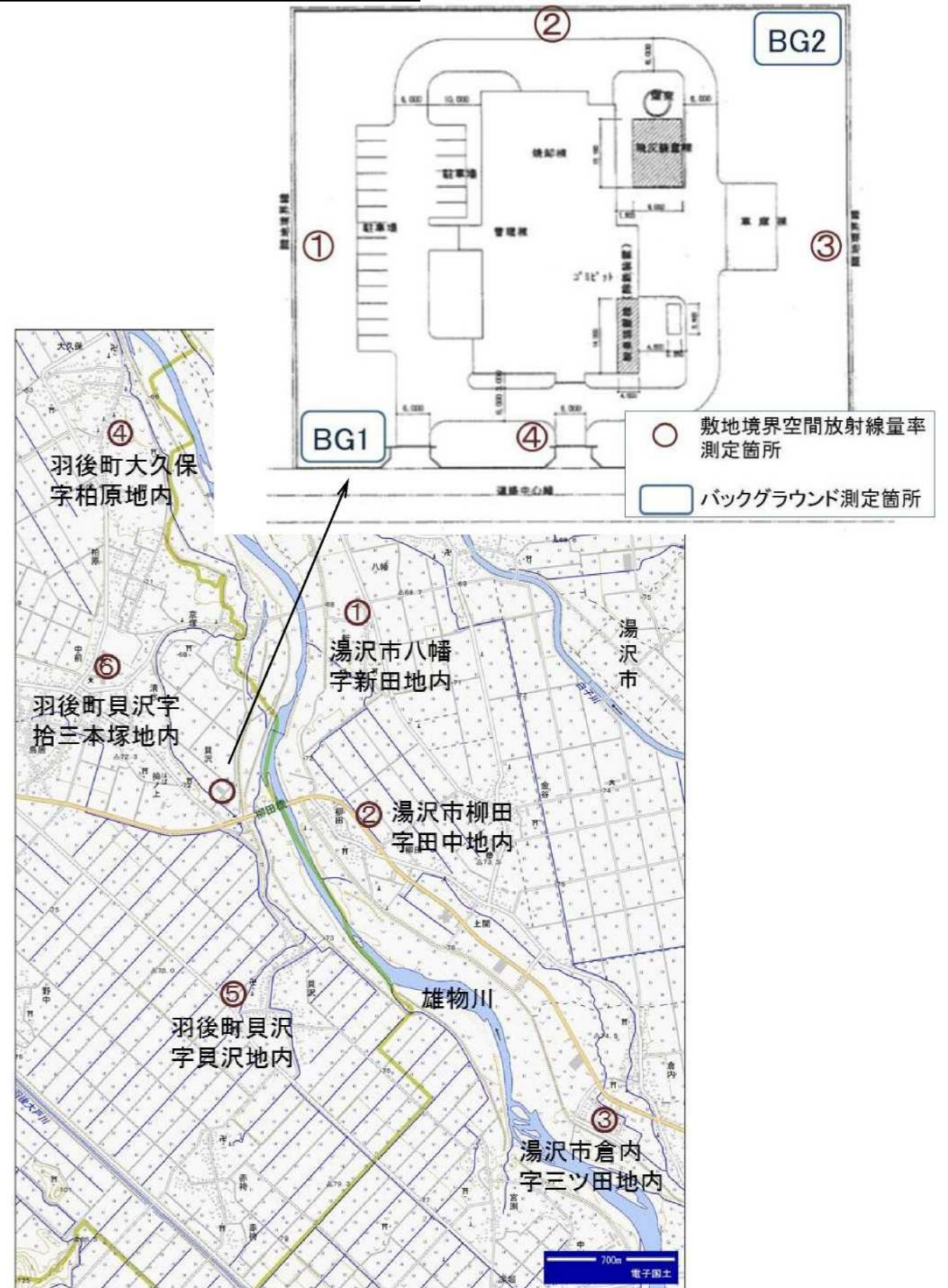
※3:（ ）は検出限界濃度

3 焼却灰の放射性物質濃度 [単位：ベクレル/kg]

調査地点	放射性セシウム濃度		
	セシウム134	セシウム137	合計
主灰	不検出 (8.4)	8.8 (5.8)	8.8
飛灰固化物	15 (7.6)	24 (7.3)	39

※（ ）は検出限界濃度

図2 貝沢ごみ処理施設調査地点図



【別紙3】八面一般廃棄物最終処分場における事前調査結果

1 敷地境界空間放射線量率 [単位：マイクロシーベルト/時]

地点1	地点2	地点3	地点4	バックグラウンド	
				地点1	地点2
0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04

※ 秋田県における地上高1mにおける空間放射線量率 (0.03~0.09マイクロシーベルト/時)

2 構内土壌の放射性物質濃度 [単位：ベクレル/kg]

調査地点	放射性セシウム濃度		
	セシウム134	セシウム137	合計
最終処分場 構内	不検出 (7.7)	不検出 (8.3)	不検出

※1：秋田市の土壌の放射性セシウム濃度 (H20~H23年：25~29.5ベクレル/kg)

※2：秋田県内の落葉の放射性セシウム濃度 (H23年：不検出~18ベクレル/kg)

※3：()は検出限界濃度

3 周縁地下水及び放流水の放射性物質濃度 [単位：ベクレル/リットル]

調査地点	放射性セシウム濃度		
	セシウム134	セシウム137	合計
周縁地下水	不検出 (0.38)	不検出 (0.33)	不検出
放流水	不検出 (0.44)	不検出 (0.45)	不検出

※ ()は検出限界濃度

4 放流先河川水の放射性物質濃度 [単位：ベクレル/リットル]

調査地点	放射性セシウム濃度		
	セシウム134	セシウム137	合計
皆瀬川上流	不検出 (0.30)	不検出 (0.34)	不検出
皆瀬川下流	不検出 (0.34)	不検出 (0.47)	不検出

※ ()は検出限界濃度

図3 八面一般廃棄物最終処分場施設調査地点図

